

from Sapporo Maruyama Zoo

動物園からこんにちは

2006. 05. 23.

札幌市立伏見中学校

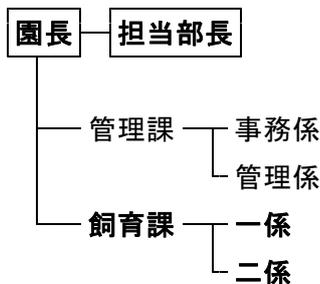
第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。来週は、いよいよ宿泊学習ですね。自主研修では、いろいろな職場を訪問し、その技や努力などいろいろなことを学んでほしいと思っています。さて、皆さんの中にも将来は「動物園で仕事をしてみたい。」と思っている人はいませんか。今回は、「動物園の職員になるためには」という発見です。

全国にはたくさんの動物園がありますが、その多くは公立の動物園です。円山動物園も例外ではなく「札幌市」による公立の動物園です。その組織は左下のようになっています。各課、係に〇〇長というまとめ役の人がいて、それ以外は、それぞれの分担を担当する人です。事務係は、経理や営業活動、ホームページなど動物には直接関係ない仕事をしています。管理係は、園の施設設備、たとえば温室とか便所と園を便利にする施設の担当ですからここも動物とは関係ありません。となると、動物の飼育は飼育課の各係となります。(円山では動物を大きく二つに分け、二係としています。)

たとえば「飼育一係」には、獣医さんが二人います。獣医さんとして動物園に就職するためには、「大学の獣医学部(6年)を卒業し、獣医師の免許試験に合格する」ことが条件です。その上で「**札幌市職員採用試験(衛生職)**」を受験し、合格した人の中から一部の人が配属されます。しかし試験に合格できても、保健福祉局(保健所)での食品衛生監視員や環境衛生監視員、水道局、建設局での水質管理や環境局でのリサイクルなどの業務にあたる人の方が多いのが事実ですし、衛生職の昨年度の倍率は、8倍強と狭き門です。

次に飼育職員として就職する方法ですが、「**札幌市職員採用試験(現業職)**」を受験、合格する必要があります。(<http://www.city.sapporo.jp/jinji-iinkai/saiyo/sonota/index.html>)ところが試験の案内には、仕事内容として(1)清掃事務所ごみの収集と運搬業務など、(2)市立の小、中、高等学校での施設内外の巡視、清掃、除雪等の業務、など とあり、「飼育員」はあくまでも「など」です。しかも募集期間「不定期」、おまけに受験対象は、「中学校もしくは高校を卒業した方が対象です。ただし、大学、短期大学、高等専門学校を卒業された方(卒業見込みの方を含む)は受験できません。」とあります。もし真剣に「飼育員」の仕事がしたい人は、ルートをよく研究する必要があるようです。自分もそうでしたが「とりあえず進学して、卒業しておこう。」では、夢がかなわないことがわかりました。夢を実現するためには下調べが大切ですね。



職員には、臨時職員や非常勤職員という人もいます。この時代ですから当然ですね。左の写真は飼育のシフト表です。自分の担当動物のほかにも代番でほかの動物の面倒を見なければなりません。もちろんいきなり「ライオン」とはならないそうですが、互いに連絡するチームワークが大切です。学級活動と同じですよ。では、また。